

旧約において神が人と共に、人の間で行動することに関する、
また新約において神が人の中で行動することに関する、
神の心の願いを成就し、神の御前で人の必要を満たす
内在的で神聖な啓示

聖書：ヨブ 10:13. 42:1-6. エペソ 3:9. ヨハネ 1:1, 14. マタイ 1:23.

II コリント 3:18. 4:16-17. ローマ 8:29-30. コロサイ 1:12, 15-19. 3:4 前半, 10-11.

使徒 26:16-18. エペソ 3:16-19

I. 旧約において、神は人と共に、人の間で行動しました。神が人と共に、人の間で行動したのは、キリストと召会のために神の永遠のエコノミーを遂行する直接的な行動ではなく、彼の旧創造における間接的な行動であって、それは彼の新創造における永遠のエコノミーのための直接の行動を準備するためでした——II コリント 5:17. ガラテヤ 6:15 :

- A. 神によって神のかたちに創造された人は、神（命の木によって象徴される）を命として取り、神を生き、神を表現し、神を代行する必要がありました。またそのような人は造り変えられて尊い材料となり、神の配偶者として建造される必要がありました——創 1:26-27. 2:9-12, 18-24。
- B. 墮落した人は、彼の贖いのためにキリストを受け入れ（犠牲とその流された血によって予表される）、キリストにある神によって義とされる必要がありました（犠牲の皮の衣によって予表される）。墮落した人はまた、女の子孫としてのキリストを受け入れて、サタン、すなわち「蛇」の死の力から救い出される必要がありました——創 3:8-9, 15, 21. ヘブル 2:14。
- C. 神は全焼のささげ物のゆえに人に目をとめ、人を喜んで受け入れました。キリストは全焼のささげ物の実際として、絶対的に神のためであり神を満足させる生活をし、神に対する満足させるかおりとして神を喜ばせ、歓喜させました——創 4:4. 8:20-22. レビ 1:9. イザヤ 42:1. マタイ 3:17. 17:5. 12:18. ヨハネ 5:30. 6:38. 7:18. 8:29. 14:24. 参照、II コリント 2:15. 雅 4:10-16。
- D. 神はアブラハムに、彼の子孫（キリスト）の中で、地のすべての諸国民が祝福されると約束しました——創 22:18. ガラテヤ 3:8, 14, 16-17。
- E. 神によって選ばれた人は、神の召しを受け、召しに応じて（創 12:1-4）、全焼のささげ物としてのキリストを通して神の御前で生き（7 節. 13:18. 22:13）、律法によって暴露される必要がありました。それによって人は自分が罪深く、律法を守る能力がないことを知り（出 19:8, 21 — 20:21）、キリストを幕屋、祭司、ささげ物として取ることによって神と共に生き、神の中へと入って、キリストと共に、キリストの中で、神であるすべてを享受します（出第 25 章—レビ第 27 章）。
- F. ヨブの遊牧生活の方法と（ヨブ 1:3）、彼が自分の子供たちのために全焼のささげ物をささげた方法によれば（5 節）、ヨブと彼の友はおそらくアブラハムの

時代に生きていたようです（創 22:13）。その時、モーセ五書と律法はまだ書かれていませんでした：

1. 確かにヨブと彼の友は、いくらかの啓示を、彼らの父祖たちから口伝えで受けていました。しかしながら、彼らが父祖たちから受けたものは、せいぜい、アブラハムの時代における啓示の水準に達していたにすぎませんでした。
2. ですから、神と人の関係に関する彼らの弁論には、神の裁きと、神が全焼のささげ物のゆえに人に目をとめること以上の、神聖な啓示を受けたことを示す暗示はないのです。
3. ヨブと彼の友は、キリストと神の霊に関することを暗示する言葉を何も語りませんでした。彼らは神聖な啓示の原始の段階にいました。
4. 神はヨブに現れたとき、ヨブにこう言っていたかのように、「ヨブよ、あなたは実は、わたしがだれであるかわかっていない。あなたはわたしが無限であることを認識していない。また、あなたは、わたしがあなたに与えようとしているものを想像することができない。ヨブよ、わたしはあなたにわたし自身を与え、わたし自身をあなたの享受として、あなたがわたしの一部分になることができるようにしようとしている。わたしはあなたが自分の高潔さ、完全さ、正しさを持つことに満足していない。わたしはあなたにわたしを得てもらいたい。わたしの意図は、わたし自身をあなたの中へと分け与え、ほかでもなくわたし自身をあなたに与えることである」。
5. こういうわけで、神の選ばれ贖われた人は、ヨブが行なったように、完全さ、正しさ、高潔さなどの人性の美德の中で自分自身を建て上げる必要はなく、慕いあえぐ鹿のように神を追い求め、神の祭りで神の民と共に神を享受する必要があります（詩 42:1-5. 43:3-5）。それは、神が人のすべてとなり、人が到達し獲得したすべてと置き換わることができるためです。これが、ヨブの三人の友への答え、さらにはエリフとヨブへの答えであるはず（ヨブ 10:13. 参照、エペソ 3:9）。
6. ヨブ記の最後で、神が入って来られたことは、ヨブが彼の人生において欠けていたのは神ご自身であったことを示しています。こういうわけで、ヨブ記には、実は完全な結末がないのです。この結末は、神がキリストにあって完全にヨブによって獲得され、ヨブを神と一とすることであるはずであり、それは、彼が神をキリストにある彼の分け前として享受するためです。そのような啓示は、新約においてのみ完全に見いだされることが出来ます——ヨブ 40:10-14. 42:1-6. 10:13. 参照、エペソ 3:9。

II. 新約において、人の中の神の行動は、神の御前で人の必要を満たします。人の中の神の行動は、キリストが一度目に来ることから、新天新地の新エルサレムが現されることまでです。この行動は人類歴史においてかつてなかったものです——ヨハネ 1:1, 14. エペソ 3:16-19. 啓 21:2, 9-10 :

- A. 神によって選ばれ召された者として、人はイエス・キリストの中へと信じる必要があります。彼は肉体と成った神であり、彼らのために、彼らと共に人の生

活をし、死んで、復活し、昇天しました。また彼は命を与える霊と成って、彼らに対して霊なるキリストと成り、彼らの救い、命、すべてとなりました（マタイによる福音書からローマ人への手紙において啓示されています）：

1. 神は来て人の処女の胎に入り、彼女から生まれて人と成り、こうして神性を人性の中へともたらし、神と人はミングリングされて一つの実体となりましたが、第三の実質となったのではありません——レビ 2:4-5. ヨハネ 1:1, 14. マタイ 1:20, 23. I テモテ 3:16。
 2. イエスは生活の中で、すべてのことを神の中で、神と共に、神のために行ないました。神は彼の生活の中におり、彼は神と一でした。彼は人の生活の中で、わたしたちが彼の足跡をたどり、また踏み従うことによってコピーすることができるように、一つの手本としてわたしたちの前に、彼の苦難の生涯を置かれました。これは単に主と主の生活を模倣することを言っているのではなく、彼の複製を言っており、それは苦難の中で彼を恵みとして享受することから来ます。それによって内住する霊としての彼ご自身は、彼の命の豊富すべてをもって、わたしたちの中でご自身を複製します——エペソ 4:20-21. I ペテロ 2:21。
 3. イエス・キリストは、肉体と成った三一の神であり、三一の神の具体化であって（コロサイ 2:9）、彼の人性において身代わりのすべてを含む死を遂げて、すべての消極的な事柄を終結させ、彼の内側から神聖な命を解放して、わたしたちに与えました（ルカ 12:49-51. ヨハネ 12:24）。
 4. 彼は死に打ち勝ち、すべてを生み出す復活の中へと入り、神の長子として生まれ（人性を神性の中へともたらし）、命を与える霊と成って、キリストのからだを生み出し、構成しました——使徒 2:23-24, 32. 13:33. ローマ 1:3-4. 8:28-29. ヨハネ 20:22. I コリント 15:45. 12:13。
 5. 彼はすべてを超越する昇天を完成し、天に上り、主、キリスト、元首、救い主とされ（使徒 2:36. 5:31）、彼を増殖させ、彼の王国としての召会を建造しました（1:8. 26:16-18）。
 6. 彼は死、復活、昇天において、彼のすべての信者を彼と一にしました。こうして、彼の死、復活、昇天はすべて彼らのものとなり、彼の経験は彼らの歴史となりました——ローマ 6:5-6. エペソ 2:5-6. 詩歌、763 番、4 節。
- B. キリストにある信者として、人はキリストの神聖な命において成長し、命を分与する霊を通してキリストであるものに造り変えられる必要があります。それによって人は聖徒たちと共に建造され、キリストのからだ、すなわちキリストの中で三一の神を表現する有機体、また神の新創造としての新しい人となって、神の永遠のエコノミーを完成し、新エルサレムを究極的に完成します。それは手順を経た三一の神と、栄光化された三部分から成る人とのミングリングであり、永遠における団体の神・人の出現となります（コリント人への第一の手紙から啓示録において啓示されています）：
1. 神はキリストの中でわたしたちを贖い、わたしたちの罪を赦し、わたしたち

- を洗い、わたしたちを義とし、わたしたちを彼に和解させました。神はわたしたちをキリストの中へと入れ、キリストをわたしたちの義と聖別と贖いとしました——エペソ 1:7. I コリント 6:11. ローマ 3:22. 5:10. I コリント 1:30。
2. 神はキリストの復活を通してわたしたちを再生しました (I ペテロ 1:3)。今や彼はわたしたちを更新し、わたしたちを造り変え、わたしたちを彼の栄光のかたちへと同形化します (テトス 3:5. ローマ 12:2. エペソ 4:23. II コリント 4:16. 3:18. ローマ 8:28-30. ピリピ 3:21)。
 3. 神は更新と造り変えにおいて、わたしたちを消耗させ、彼の苦難の交わりのために、わたしたちを彼の死の中へと入れます。その苦難は、わたしたちのために永遠の重い栄光をもたらします。それは、わたしたちが彼の復活の中で彼を経験し、彼の計り知れない豊富の中で彼を獲得するためです——II コリント 4:16-18, 10. ピリピ 3:10, 8. エペソ 3:8。
 4. 父なる神は子なる神の中に具体化されており (コロサイ 2:9)、子なる神は霊なる神として実際化されており、霊なる神は来てわたしたちに内住し、三一の神の実際となります (ヨハネ 14:16-20)。父、主、霊は、三一の神であり、キリストのからだとしての召会の源、要素、本質となっています (エペソ 4:4-6)。
 5. 三一の神が信者たちの中で実際であるという奥義に関して、キリストは彼の弟子たちに告げるべき事が多くありましたが、彼らは、実際の霊が来てこれらの事柄を啓示するまで、それに耐えることができませんでした (ヨハネ 16:12-15)。このことは実際の霊によって、おもに使徒パウロにおいてなされました。彼は神の言葉、すなわち、神の奥義としてのキリスト (コロサイ 2:2 後半) と、キリストの奥義としての召会 (エペソ 3:4) に関する神聖な啓示を完成しました (コロサイ 1:25-27)。
 6. キリストは、神によって聖徒たちに割り当てられた神聖な分け前として、また信者たちの中の命として、新しい人のすべての肢体となり、また新しい人のすべての肢体の中にいます。その新しい人はキリストの有機的なからだです。神は神の具体化であるキリストを、わたしたちキリストの信者たちのすべてとならせることを願っています——コロサイ 1:12, 15-19. 3:4 前半, 10-11. I コリント 12:12-13。
 7. 彼は命を与える霊として、わたしたちの中に住んで、彼ご自身と、彼が完成し、獲得し、到達したすべてのことをわたしたちにとって実際とします。それによってわたしたちは彼と一になり、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと造り変えられます。わたしたちは心を主に向けることによって、主の栄光を見つめ、わたしたち自身で主を見て、主の栄光を反映することができ、他の人たちがわたしたちを通して主を見ることができるようになります——II コリント 3:16-18。
 8. 神はキリストにあって、わたしたちの中で彼の造り変える働きを完成し、ついには彼の造り変えは、新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エル

サレムはまず、千年王国における勝利者と共にあります（啓 2:7）。そして究極的には、新天新地におけるすべての聖徒たちと共にあって、彼の選ばれ贖われたすべての人を彼の団体的な表現とならせ、永遠において最も満ち満ちた程度にまでご自身を現します（21:1 — 22:5）。それはヨブが現したような、いかなる種類の単なる人性の美徳でもありません。

©2020 *Living Stream Ministry*